

【3年進路指導年間スケジュール】

学期	月	学校行事	進路行事	
			行事	目的
前期	4月	始業式 入学式 球技大会	第1回進路希望調査 個人面談 第2回校内模試 第2回進路希望調査 駿台模試・プレステージ	入試に向けての基礎学力・学習習慣を確認する。 志望校を意識して、受験勉強をスタートさせる。 志望校について、アドバイスを受ける。 記述・論述力を確認し、不得意科目を早期に発見する。 センター試験対策をスタートさせる。
	5月	生徒総会 1回考査 PTA総会	家庭学習実態調査 個人面談 第3回校内模試	家庭学習のあり方を点検し、生活環境や生活時間の改善を図り、受験生としての意識を確立する。 4月からの学習成果を確認し、学習対策を練る。
	6月	大学入試説明会 東雲祭（体育祭）	進研マーク模試 第3回進路希望調査 個人面接 東大オープン模試	記述・論述力の伸長を確認し、弱点の強化に努める。 センター試験を想定し、自己採点の流れをつかむ。 大学研究を進め、より志望校を実感できるものにする。 将来の目標と志望校選定の方向性について、アドバイスを受ける。
	7月	2回考査 三者面談 オープンスクール1	第1回進路検討会 進研記述模試 大学別オープン模試 三者面談	（個々の志望を踏まえ、志望校が適正か否か検討する。） マーク模試とのドッキング判定により、総合力をみる。 入試に向けての基礎力の定着を図るとともに、演習を重ね応用力を身につける。 志望校について、進路検討会を踏まえた担任からのアドバイスを受け、志望校を絞り込む準備をする。 3年生前半までの学力を測定し、弱点を自覚する。
	8月		夏季学習セミナー 大学別オープン模試 全統マーク模試 夏季補習	入試に向けた実戦的演習を通じ、応用力を身につける。 夏休み前半までの学習の成果を知り、今後の学習法を含め学習計画を見直し、より成果の上がるものにする。
後期	9月	東雲祭（文化祭） 前期末考査 オープンスクール2 終業式	第4回校内模試 第4回進路希望調査 個人面談 進研マーク模試	思考力が問われる問題に取り組み、今の二次力を知る。 自分の実力と志望校との差を認識しながら、目標を設定する。目標達成のため具体的なアドバイスを受ける。 入試のシミュレーションとして、夏休み以降の力を試す。
	10月	始業式 創立記念日 芸術鑑賞 3回考査	センター試験出願 進研記述模試 第2回進路検討会 大学別オープン模試	マーク模試とのドッキング判定により、総合力を確認。 （個々の合格可能性を踏まえ、志望校を検討する。） 志望校決定に向けて、多角的なアドバイスを受ける。
	11月		進研マーク模試 大学別オープン模試 第5回校内模試 第5回進路希望調査 個人面談	実戦力を確認し、最終的な弱点強化の計画を立てる。 記述・論述力の定着を確認し、二次科目を絞り込む。 自分の実力を把握し、本命校・併願校を絞り込む。
期	12月	4回考査 三者面談	第3回進路検討会 センタープレテスト 三者面談 特別授業	（個々の合格可能性を踏まえ、出願予定校を検討する。） 進路検討会を踏まえた担任からのアドバイスを受け、 国立出願予定校と私立併願校を決定する。
	1月	センター試験 三者面談	センタープレテスト 特別授業 第4回進路検討会 三者面談 特別補習	入試直前のシミュレーションとして、自己採点までの流れを確認し、受験後は最終の復習を行う。 （センター試験の結果を踏まえ、出願校を検討する。） 進路検討会を踏まえた担任からのアドバイスを受け、 国立出願校を決定し、出願の準備を整える。
	2月	国立前期試験	国立大学出願 特別補習	国立前期個別試験に向けて、実力を蓄える。
	3月	卒業式 国立中期後期試験	個別指導	国立中後期個別試験に向けて、最後まで力を伸ばす努力を続ける。

進路学習のポイント	学習のポイント
<p>受験への意識を高め、早期に「受験生」になる。 ○担任との面談を通し、志望校群を絞り込む。 ○入試のスケジュールを把握し、入試までの学習計画を立てる。</p>	<p>入試に向けての基礎力や学習習慣の最終確認を行い、受験勉強を本格的にスタートさせる。 ○生活環境を見直し、すぐに学習に取り組み、集中できる空間を作り、また生活に一定のリズムを作り、充実した学習時間を確保することによって、本格的な受験勉強のスタートを意識する。 ○学習時間の大半を占める授業を中心にすえて、予習→授業→復習のサイクルを確立し、入試に向けた基礎力の定着を図る。 ○定期考査は「入試に必要なポイントを絞り」「実戦形式で行う」「大がかりな総復習」として、一定期間の学習の成果をはかる重要な役割を担っているため、集中して取り組む。 ○夏休みは、時間のかかる苦手克服に取り組む最後のチャンス。不安のある箇所は徹底的に復習し、基礎力の完成を目指す。</p>
<p>総合的な学習の時間を活用し、志望理由書や小論文の準備をする。 ○自分の高校生活を振り返るとともに、興味・関心に従って、志望する学部・学科について志望理由書を書き、志望校群を絞り込む。 ○志望する学部・学科の専門分野の中から、自らの興味・関心に応じて課題を見つけ、自分の意見をまとめ、表現する力をつける。</p>	<p>校内模試・校外模試を有効に活用して、受験勉強を確実にしかも効率よく進める。 ○模試を節目として、学習の成果を確認したり、弱点・課題を認識し、克服・補強のための学習計画を立てて、入試に向けた基礎力・応用力をつける。 ○志望校と学力とのギャップを認識することによって、志望校の絞り込みを行うとともに、志望校合格に向けた具体的な学習目標を設定する。</p>
<p>志望校群としてあげた大学の情報収集をし、自分の将来の目標や学力と照らし合わせ、志望校を絞り込む。（明確な目標を設定することで、受験勉強への意欲が高まり、忍耐強く取り組める。） ○志望する大学・学部・学科について、研究内容やカリキュラム、卒業後の進路などを大学のホームページや各種情報雑誌等で調べる。必要があればオープンキャンパスに参加する。 ○入学定員や入試科目、配点、出願期間や合格発表の日程などを調べ、入試のスケジュールを押さえる。</p>	<p>後期以降、身につけた基礎力を土台に、問題演習などに取り組むことによって、応用力をつける。 ○学習の進み具合を分析し、現状を踏まえて入試までの学習計画を立てる。 ○焦りは禁物で、授業を中心にすえた学習形態は変えず、定期考査・校内模試・校外模試など間違った問題の総点検を行い、学習漏れのないようにする。 ○過去問題や予想問題などに当たりながら、これまでに得た知識を、入試で使える知識へと高める。</p>
<p>出願の手続きには、十分な準備が必要。 ○特に推薦入試やAO入試の出願は、大学によって時期も必要書類も多種多様になっているので、よく担任と相談の上、早めに募集要項を取り寄せ、準備する。 ○10月には、センター試験出願完了、12月には、国立・私立大学の募集要項が出そろうので、取り寄せておく。 ○国立大学の出願校は、センター試験の結果により最終決定することになるので、様々なケースを想定して、前・中・後期へ出願する大学を考えておく。</p>	<p>1月以降は、自分の実力を100%発揮し、確実に得点することのできる力を養成する。 ○これまで身につけてきた力を徹底的に磨くことに心がける。 ○センター試験終了までは、基礎固めに専念して、取りこぼしがないようにする。 ○センター試験終了後からは、出願校の個別試験に向け傾向を踏まえて、二次力を磨く。</p>
<p>最後まで諦めない前向きな強い気持ちこそが合格のカギ！ 入試までの月日は、山あり谷あり順調に進むときばかりではありません。焦って自分勝手な行動にせず、最後の最後まで諦めず、とにかく“学校へ行こう！”勝機は学校にあり！</p>	

